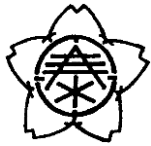


さいたま市立泰平小学校



学校だより

児童数：618名

第616号 令和8年8月26日 発行

〒331-0801 さいたま市北区今羽町628

TEL 048-651-5637

FAX 048-651-4831

・ホームページ <http://taihei-e.saitama-city.ed.jp/>

・Eメール

学校教育目標 ◎かしこく ◎なかよく ◎たくましく ◎心ゆたかに

対話と経験

校長 佐藤 信孝

夏休み中、7月末には熊本で大きな地震があり、8月お盆の時期には千葉で大雨による大きな災害が起きました。暑い中、多くの方が避難所等での生活を強いられ、それ以上の方々が復旧に向けてご尽力されています。1日でも早い復興と現地の皆様方のご健康をお祈り申し上げます。この期間、各ご家庭でも様々な出来事があったことと思いますが、泰平小学校は2学期を迎えました。学校には、学校らしい子どもたちの声が響いています。災害などの情報に触れるたび、今日こうしてあることが決して当たり前のことではなく、大変ありがたいことであることを改めて思います。

さて休みの間、平日に朝から昼のテレビの情報番組を落ち着いて見る機会がありました。改めて見るとよくできていると感心されることが多々ありました。限られた時間の中で、映像や資料を駆使して情報を分かりやすく伝え、専門家が解説を加え、司会者やコメンテーターがそれぞれの立場や一般の方に近い視点で考えを述べる。世界の紛争や経済、この夏を乗り越えるための健康法、ご当地グルメまで、多種多様な「今、知っておきたい情報」を伝えていました。1日見ているだけで、相当の知識を得ることができます。また、テレビを見ながら、もっと知りたいことや分からないことなどがあれば、スマホで検索すれば、さらに情報を手にすることができます。さらにAIを活用すれば、「文章やメールの自動作成、長文や資料の要約、アイディア出しの壁打ち、データ分析やスケジュール調整など」ができ、分かりやすく解説してくれ、さらに、「どのような目的・業務でAIを使いたいのか、よく使うデバイスは何なのか」なども聞いてくれ、深堀りできます（このAIの活用法はAIがあつという間に答えてくれたものです）。

このような時代、学校は何のためにあるのだろう、と考えます。江戸時代の寺子屋などでは読み・書き・算（計算やそろばん）を中心に学んだようです。学校という制度ができた頃には、きっと、学校で習うことが社会の最先端の知識であり、学校で習わなければその知識を得たり、つかったりできなかったでしょうし、学校という場所は知識を得るための効率の良い道具や機器が揃っている特別な場所だったと思います。でも、今は知識を得るためのツールはテレビであり、スマホであり、リビングにありました。

学校が単なる知識を得るための場ならその役割は大きくないかもしれません。しかし、それぞれの考えや習慣の違う環境＝各家庭で育った友達と共に学び、考えを交流し、同じ考えであることに喜んだり、違う考えや意見を出し合い、折り合いをつけたりすること。自分たちの生活をよりよくする経験や対話の機会が学校という安全な場で行うことの重要性が増してきていると考えます。

子どもたちは、将来、社会と何らかの形で関わり、社会の中で生きていきます。直接的であれ、メールやチャットを含めインターネット等を介しての間接的なものであれ、他者とのつながりは避けられません。子どもたちが大人として生きる時代は、今以上に、国や民族、考え方の違う人たちと簡単につながる世界となっていることでしょう。AIに象徴されるように、社会の変化も今以上に早いものになっていると思います。自分で考え、判断し、価値観や考えが違う他者と協働し、課題を解決しながら生きていく、社会と関わり合っていくことがより求められます。子どもたちがよりよく生きていくため、泰平小学校でも、必要な資質を問い続け、泰平小学校はその基礎を育てる場でありたいと思います。

さあ、2学期です。今学期も本校教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いします。

＊

81日間の2学期が始まります。保護者の皆様、地域の皆様、1学期同様、様々な面でお世話になります。暑さもまだまだ続きますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。